


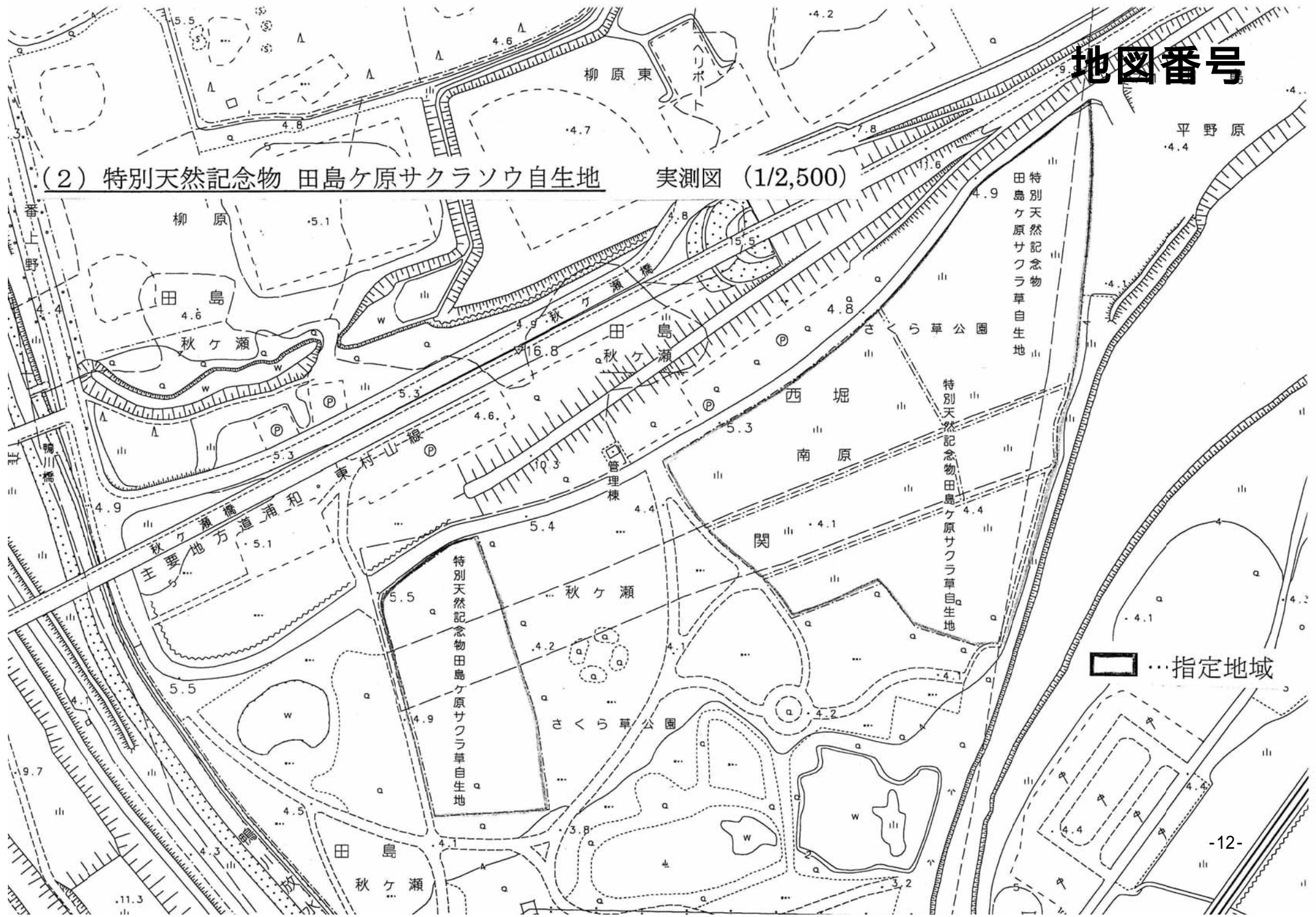


現行の維持管理作業と課題・今後の実施案

場所	内容	具体的行為	地図番号	参考写真	課題	今後の実施案
指定地内 抑制・除去させる行為	指定地の植生を変化させる植物の除去	外来植物(オオブタクサ・セイトカアワダチソウなど)の除去			侵入の継続性	年間を通して、継続して除去する
		現存植生を攪乱する繁殖力旺盛な在来植物(ハナウド、ナワシロイチゴなど)の制御			・在来植物であるため、全部を除去するわけには行かないが、その反面、残されたものの繁殖力が強い	年間を通して、定期的に抑制する
		草原を維持するための、幼樹(ヤマグワ・ムクノキなど)の除去			・放置すると、森林化が懸念される	年間を通して、継続的に除去する
		(桜やハンノキなどの大木の存在)			・放置すると、森林化が懸念される。 ・景観上、サクラソウ自生地には相応しくない	公園管理部署とも協議し、今後の方向性を決定する
		オギ・ヨシ類の草焼き(1月中旬)			・草原の維持のため必要であるが、その反面、降灰等の苦情がある	住民等への周知を徹底して、今後も継続(実験圃場については、「刈払い」を実施)。実施の時期については、枯れ具合も念頭に置いて、再考も。
	ノウルシ群落の抑制	観察路周辺のノウルシの抑制			・ノウルシは絶滅危惧種である一方、サクラソウの競争植物でもある	来観者のためにも、観察路付近を中心に、計画的・継続的に秋季に観察路付近を中心に抑制する。 抑制後は、サクラソウの交配種子を人為的に播種する。
	指定地内の礫石等の除去	過去の志木街道仮設道路敷石の撤去			・放置すると、自生地の乾燥化や乾燥植生出現の危惧がある。 ・撤去した礫石置き場の確保が課題	継続的に除去する

	E区内の管理				使用されていないポンプの存在	撤去するか否かは、今後の全体の管理計画を勘案して検討する
復活・増殖させる行為	つる植物群落の維持				・現況では多様な植物維持が困難 ・放置すると、オギヨシの単一化が懸念される	計画性を持って制御
	種の多様性の維持保全	過去に普通に見られた種(ツボスミレ、ムラサキケマンなど)の維持増殖作業			・放置すると、種の維持に危機的状況が起きかねない	計画性を持って播種を実施
		絶滅危惧種(トダスゲ、ノダイオウなど)の維持増殖作業			・放置すると、種の維持に危機的状況が起きかねない	計画性を持って播種を実施
	サクラソウの人為増殖				・現存世代群落消滅の危険性あり ・後継を作る必要がある	・ノウルシ抑制跡地へサクラソウの交配種子を播種する ・将来的には自生地全域への計画的な交配種子の播種も検討する
	第2次指定地内の湿性植物群落の定着化				・湿性植物の衰退化	絶滅が危惧される種を移植する
	E区内の管理	・(荒木田土採掘跡の存在) ・(増殖実験により、群落成立条件を把握できている)				・植生が開墾によって破壊されている
その他の行為	環境の保持	投棄廃棄物の処理				継続して実施するとともに、保護意識の周知を図る
	観察路の維持	観察路に出現する植物群落の踏み付けからの防護				継続して実施するとともに、保護意識の周知を図る

(2) 特別天然記念物 田島ヶ原サクラソウ自生地 実測図 (1/2,500)



指定地域

次回の予定

第 6 回 国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」保存管理計画策定委員会

日 時 平成 2 4 年 5 月頃

会 場 未 定

議 題

- 1 . 指定地内維持管理作業に対する総括
- 2 . 自生地維持管理作業における「現状変更許可申請」に対する方向性の検討
- 3 . 「指定地外のあるべき姿」検討準備
- 第 7 ・ 8 回目会議に向けて -